

事業所名

放課後等デイサービスアップ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

15日

法人（事業所）理念		鹿児島の子どもたちの未来を								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・静と動の区別がつけられることができる。</li> <li>・日々の生活の中での困り感を減らしていく。</li> <li>・知育活動（SST）により情報処理能力を向上させる。</li> </ul>								
営業時間		9時	30分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	時間を守り、規則正しい生活をする習慣を作ります。事業所に帰ってきたら手洗いをし、荷物を棚にしまい、おやつを食べてから活動に入ります。毎日やるべきことをやるべき時間に取り組むことで、良いルーティーンをみんなで作っていきましょう。毎日行うプログラムはわかりやすくボードにまとめてあります。よく見て活動に入ります。また、みんなが毎日を楽しく過ごせるように、美味しくご飯を食べる習慣も作っていきます。みんなで揃って好き嫌がなくよく噛んで食べることで、元気いっぱい活動しましょう。								
	運動・感覚	ラジオ体操や公園での屋外活動や室内スポーツ活動を通して、それぞれの利用者に必要な運動に関する能力を育てていきます。また、手先を使うおもちゃ遊び・制作活動を通して楽しくルールのある遊びのやり方や道具の使い方を学んでいきます。また、作業療法士が監修する活動を通して、利用者一人ひとりが持っている課題を克服するためのトレーニングをすることができます。できるようになると楽しくなります。前向きに活動に取り組んでいきましょう。また、周りの変化や雰囲気を感じるお友達には、先生が個別に対応します。								
	認知・行動	自由遊びや集団での制作活動、行事での屋外活動を通して、多種多様な経験を積み重ねます。そこで出てきた課題や問題をどうすれば解決できるかみんなで考えましょう。先生がお手本を見せることもありますし、お友達が正解を見つけてくれることもあります。たくさんの成功体験を積み重ねることで、自信を持って行動できるようになります。また、先生や他のお友達の活動の様子を見て、「いいな」と思う行動は真似をしましょう。お互いがお互いの良いところを吸収しあってより良い自分を作っていきます。アップでの活動は皆が目で見えてわかるように工夫されているので、入り込みやすくなっています。								
	言語 コミュニケーション	日々の活動やSSTを通して、自分の思いや考えを言葉にする機会を多く作ります。その中で相手に伝わりやすい表現を身につけていきましょう。はじめは言葉で伝えることに拘らず、いろいろな表現方法を使い分けていきましょう。わからないときは先生と一緒に考えて、少しずつ自分の中の言葉を増やしていきましょう。また、アップの外に出て、普段話をしない人とのコミュニケーションをする機会を作るので、積極的にお話をしましょう。								
	人間関係 社会性	アップの中で異年齢の人と関わることで、いろいろな話し方を身につけていきましょう。まずは挨拶です。アップに帰ってきたとき、おやつを食べるとき、それぞれの活動を始めるとき、お家に帰るときにそれぞれしっかり挨拶をしましょう。また、SSTのロールプレイの中で普段の自分ではない役割を演じることで、楽しく人とのコミュニケーションを取る方法を学んでいきましょう。アップにはいろいろな経験をした先生がたくさんいます。たくさんお話をし、自分の中に新しい考え方を知ります。また、皆が楽しく活動できるように先生たちがいろいろな準備をしてくれます。やりたいことや興味のあることはどんどん先生に伝えましょう。								
家族支援		連絡帳や送迎時のやりとりでアップでの活動の様子を伝えます。また、実際にアップや学校やお家で他の支援者も交えて話をする機会を作ることで、利用者に向けた支援を構築していきます。				移行支援		アップの支援内容を他の支援者に共有し、また他の支援者の支援内容をアップに共有してもらうことで、一貫した指導体制を作ります。また、集めた情報をデータにまとめて「見える化」することで、利用者が新しい環境に入るときにも効果的な支援が継続して受けられるようにサポートします。		
地域支援・地域連携		学校訪問や地域内行事への参加を通して、周囲の人とのコミュニケーションを取っていきます。また月報を周辺の事業所に配布して、アップでの活動を知ってもらっています。行事への参加呼びかけを行い、地域に開かれた事業所を目指して活動しています。				職員の質の向上		外部の研修に積極的に参加し、事例検討会・グループワークを通して、今いる利用者もしくはこれからの利用者へのより良い支援をするための下地を作っています。また、職員間の情報共有は日々欠かさず行い、お互いに持っている意見を共有、研磨することで日々の活動内容をより良いものになるように努めています。		
主な行事等		遠足、クリスマス会、買い物体験、農業体験、季節ごとの壁面構成、夏祭り、保護者参観日								